

令和8年度第48回入学式 校長式辞

天神川沿いの桜が、まるで皆さんの門出を祝うかのように一斉に花開き、春の光を受けて淡い桃色の川をつくっています。この麗らかな季節の中、清らかに光り輝く若葉のような新入生を迎え、兵庫県立伊丹西高等学校第48回入学式を、ご来賓の皆さま、保護者の皆さまご列席のもと挙行できること、校長としてうれしく思っております。

ただ今入学を許可した281名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれまで自分を見つめて進路を考え、本校を選び自らの力で試験に合格し、入学を果たしました。まずは、皆さんが高校入学という目標に向けて努力し、その目標を達成したことをたたえます。本当によく頑張りました。今まさに、大きな希望と幾ばくかの不安を胸に、新たな学校生活を始めようとしています。本校の一員となった皆さんに高校生活3年間をとおしてお願いしたいことがあります。それは、「夢を持ち、計画的に、そして勇気をもって挑戦せよ」ということです。

高校入学にあたり皆さんは本校で何をやりたいですか。どんな目標をもって伊丹西高校での学校生活を送りますか。入学式にあたり自分の志を決めることは大きな意味があるのです。目標を定め、挑戦することの大切さについて、恐らく小学校、中学校時代から何度となく皆さんはお話を聞いてきたと思います。なぜ挑戦が必要なのでしょう。私は挑戦とは成長と同じ意味だと考えています。若い皆さんが成長するためには今まで経験したことのないこと、自分にとって未知の領域を知ること、自分の限界に挑むことが必要だと考えます。当然うまくいかないこともあるでしょう。気持ちがめげることもあるかもしれません。けれども失敗は途中であきらめるから失敗なのであって、その原因を明らかにして、準備をしっかりと行い、もう一度絶対成し遂げるという強い気持ちでやり続けることが大事です。失敗を恐れるあまり何も行動しない。これは非常にもったいないことです。高校時代の3年間は人生の土台を作る時期でもあります。たくさん学び、たくさん汗をかき、たくさん失敗をすることによって見えてくるものがあります。どうか皆さんには失敗を恐れずチャレンジし続けてほしいと願っています。

「壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから壁があるときはチャンスだと思っている」

日米の野球界で殿堂入りする活躍したイチロー選手はこう言っています。挑

戦し続けて壁にぶつかったら、自分が成長するチャンスが来た！そう思って覚悟をもって立ち向かいましょう。

卒業後皆さんが歩み出す社会は予測困難な社会です。ウクライナやパレスチナ、イランではいまだに戦いが続いています。戦後我々が作り上げてきた民主主義や自由貿易体制は大きな危機を迎えています。今なお、人類は環境破壊や温暖化の進行を止められずにいます。一方で既存の価値観の転換や、人工知能の進化によってさまざまな社会問題が克服されようとしています。予測困難な社会は我々の努力によって、よりよい社会にもなり得ます。世界は広く、我々が希望をもって歩む限り、未来は明るいです。あなたにしかできないことが必ずあります。世界のどこかにあなたに出会うことで救われる人が必ずいます。

在学中に自らの殻を破り、挑戦を続けてください。自分自身を誇れる何かを見つけ、他者の誇りに敬意を払い、自らが学ぶ意味を問い続けてください。それが本校で学ぶすべての人の果たすべき責任です。

最後になりましたが、保護者の方々に向けてご挨拶させていただきます。大切なお子様はしっかりと伊丹西高校がお預かりしました。安心をお届けする心温まる取組みを行います。そして3年後、必ず希望の進路を実現し、豊かな人間性が花開くように教職員一丸となって教育活動に邁進することをお誓い申し上げます。

令和8年4月8日

兵庫県立伊丹西高等学校 校長 田中 慎一